

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0024 堺市堺区向陵中町2丁5-10 杉本ビル5-B・Tel:(072)255-1200 番

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 PANTARON Tel:(072)228-3988 番 (魚太郎直通電話)

URL : <http://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

ガバナー(第2640地区) 辻 秀和 (ツジ ヒデカズ)

ガバナー事務所 URL : <http://www.rid2640g.org/tsuji/>

E-mail : tsuji2014-d2640@ivy.ocn.ne.jp

会長: 山ノ内修一 幹事: 塩見 守 広報委員長: 坂田兼則 編集者: 中川澄

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

本日の例会

2014年11月7日(金)第1637回

卓話 「ロータリー財団フォーラム」

卓話者 ロータリー財団委員長 新井 茂文

今週の歌「君が代」「奉仕の理想」

「バースディソング」

お客様の紹介

出席報告 会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○会員・奥様誕生祝い(11月度)

綿谷 享子様(10日) 木畑 明子様(16日)

○結婚記念祝い(11月度)

宇瀬治夫会員(3日) 米澤邦明会員(4日)

山ノ内修一会員(16日) 中田 学会員(18日)

塩見 守会員(18日) 奥野圭作会員(19日)

三上尚嘉会員(23日)

2014年10月31日(金)第1636回

ガバナー公式訪問

卓話 「ガバナーアドレス」

卓話者 辻 秀和 RI2640地区ガバナー

今週の歌「奉仕の理想」

「大きな古時計」

お客様の紹介

出席報告 会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

<10月31日(金)の出席報告>

会員数 33名

出席会員 24名

欠席会員 9名

ビジター 0名

ゲスト 3名

9月26日(金)の出席率 90.90%

次回の例会

2014年11月14日(金)第1638回

卓話 「堺北ロータリーと私」

卓話者 池田 茂雄 会員



2014-15年度 国際ロータリーのテーマ

「ロータリーに輝きを」

Light Up Rotary

国際ロータリー会長 ゲイリーC.K.ホアン (台湾・台北 RC)

卓 話

「ガバナーアドレス」

2014 - 2015 年度 DG 辻 秀和様



皆様 こんにちは、

本日は、2014 - 2015 年度地区ガバナー公式訪問でございます。

先立ちまして、山之内 修一会長様、塩見 守幹事様、尾羽根伸幸ガバナー補佐、宮脇 辰郎地区幹事もご同席の上、会長・幹事 懇談会を和やかに、かつ有意義に終えました。今回堺北 RC 様を公式訪問させていただき、このように歓迎をさせていただき、大変な名誉でございます。衷心より感謝申し上げます。

クラブ会長山之内 修一様や会員皆様、また澤井久和地区青少年ライラ委員長様には、運営に多大なるご理解・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

堺北 RC 様と申せば、1980 年 10 月に堺 RC 様をスポンサークラブとして創立されました。地域社会への奉仕、職業奉仕、国際奉仕、青少年奉仕にも又、親睦・R - 財団・米山記念将学会など、バランスよくすばらしい活動を展開されておられます。当地区では、きらりと輝く存在であります。

本年度、創立 34 周年をお迎えになられます。

これを機に、さらに斬新的で独創性豊かな活動のご継続と、40 名目標の会員増強にご成功されますようご期待申し上げます。

本年度山之内会長様は、RI テーマの『ロータリーに輝きを』と、さらに地区方針を共にご配慮いただきつつ、クラブ会長方針を：『仲良く、楽しく』と定められて、しっかりと実践されておられます。

共鳴・共感することばかりで、素晴らしいロータリーの、お仲間に出会えた喜びを感じました。

NO. 2

・「四つのテスト」(The Four-Way Test)

言行はこれに照らしてから



真実かどうか…………。

みんなに公平か…………。

好意と友情を深めるか…………。

みんなのためになるかどうか…………。

- ・今、多くのロータリアンは、数年来の混乱の終息を望んでおります。この「四つのテスト」を励行し、各クラブの本来の活動で汗を流し、奉仕活動することが、終息への最短の道です。
- ・パストガバナーには、必要な委員会の中で、お役目をお願いいたしております。
- ・今年始のアメリカのサンディエゴでの、ガバナーになるための国際協議会では、RI 役員皆様は、共通して次の事柄を強調され、私は学んで参りました。結局ロータリーは、こうだと思われま。
- ・ロータリーは常に未来を見据えて、リーダーや会員達が英知を絞り、世界でいいことをしてみんなに豊かな人生を実現する。現時点のみにこだわらないことで、素晴らしい未来が実現できます。
- ・次に、新世代へ「ロータリーの奉仕の精神」をインプットするために、共に行動し、ロータリアンの貴重なそれぞれの『体験』を新世代の若者たちにしっかりと伝えて、

それを継承しその繋がりを大切にすることです。

No. 3

- ・余談ですが、東京農大の当時の校風は、自由奔放で、バンカラで、開拓魂豊かな精神が残っておりました。

その校風で私も、在学中は何度も海外へ奉仕に飛び出し、ついに卒業後は JICA の青年海外協力隊で、マレーシア国にまるまる三ヵ年飛びました。

協力隊員が世界の僻地で、本当に田舎の集落に入り込んで農業や衛生の指導をする、つまり草の根外交の先陣を切っているのが「JICA 青年海外協力隊」でございます。

確かに私がその国のその地域に一人行ったわけではありますが、しかしその JICA の事業や派遣する人を支える人、又 派遣要請して協力隊員を迎え入れる国の人々、双方で数え切れないほどの人々に支えられてこそ素晴らしい成果が得ることが出来て、本当に何事にも変えがたい貴重な体験が出来たわけでもあります。

お陰さまで、とても言葉では言い尽くせないほどに一人海外で青年期に貴重な体験を積む事が出来ました。

なぜ、私の体験を皆様に披露するかと申せば、

- ・皆様のご自身の貴重な「体験」は、機会をわざわざ設定してでも、新世代の若者にぜひとも伝えてあげていただきたい。それをどのように生かすかは、彼ら自身です。
- ・RI 会長ゲイリー氏は、中国古来の孔子は私にとって、「元祖ロータリアン」だとのべられました。JICA 青年海外協力隊は、私にとってはロータリーでいうところのまさに「I serve」の世界なのです。

No. 4

マンスリーを読まれましたか。そこには RID2630 岐阜 RC の PDG 服部 芳樹（よしき）様の『I serve の究極にある職業奉仕』という記事があります。

- ・そこには、『職業奉仕の定義』とは、「個々の職業において理想とする「奉仕の理念」を実践する」こととあります。
- ・『奉仕の理念』（理想）とは、「理想的な奉仕のあり方は、対する人の求めるところをよく察し、そして思いやりの手を差し伸べること」とあります。
- ・この奉仕のあり方は、職業奉仕のあり方そのものでもあります、明記されてありません。
- ・JICA 青年海外協力隊もまさにこれに通じます。

帰国して、それならば；自身は何を成すべきかが、おのずとわかるはずであります。

- ・自分が変われば、地域社会が変わる、世界が変わる。
- ・自分の体験は、新世代へと、確実に伝えねばならないこの二点でございます。

世界が、日本が、グローバル化しつつ、多くの問題を未解決のままに、大きく転換しようとしています。

そこでロータリーは今、何が出来るのか。

それは計り知れない可能性に満ちた「新世代の若者達」に、幸多かれとエールをただ送るのではなくて、ロータリアンは新世代の若者達と共に、汗を流し活動できる機会を積極的に増やしていただき、ロータリーをロータリーファミリーと共に、みんなで楽しんでいただきたいと願います。

No. 5

ロータリーの国際交流活動や地域社会での奉仕活動は、世界理解につながると考えられます。

なぜならばロータリーは；世界 201 カ国に、(34, 282 クラブ) 約 120 万人の会員を有する、グローバルな国際的組織だからであります。

ロータリーの活動はすべて『世界平和』につながります。

海外で活動をする、国内で活動する、いずれにしても、人と人との交流は、常にそこに、お互いの相違はあるものです。

相手を思いやる心、おもてなしの心、が肝心です。

今このような、心が一番大切だということが忘れられて、当地区では、なかなか本来のロータリー活動に、戻れない大きな原因のひとつだと考えられます。

一番必要なことは、この部分の、相互理解のような気がいたします。

私も、ロータリー入会以来、クラブ活動、地区活動を通じて、海外の青少年や姉妹クラブにおける国際交流活動で、又地域での奉仕活動で、東日本大震災での被災地支援活動で、いずれにおいても、ロータリアンの仲間、ロータリーファミリーや一般の人々と共に、長年にわたり言葉では言い尽くせない、心温まるご支援やご協力を賜りました。

米国インディアナ州ハミルトン郡。

すなわち、インディアナポリス郊外の町カーメル市。カーメル市は、人口 20 万以下の都市の中で、全米で住みたい町 No. 1 の町です。

No. 6

私は、そこでの奉仕活動が認められ、仲間を代表しまして、カーメル市の『名誉市民』の称号を賜りました。

大変、名誉なことと、感謝いたしております。

日本の「思いやりの心」や「おもてなし文化」の一つ象徴であります。

さらに本年度、RI2640 地区関しましても、ほとんど無条件にて、多くのクラブメンバーの方々には、地区運営の要として、ご協力賜っております。

全てに、感謝!! 感謝!! でございます。

皆様の絶大なるご協力を、引き続きお願い申し上げます。

This is Rotary !! This is Rotary !!

会長の時間

会長 山ノ内 修一



今日は、「ガバナー公式訪問」ということで、国際ロータリー2640地区 辻秀和ガバナー、尾羽根伸幸ガバナー補佐、宮脇辰郎地区幹事のお三方をお迎えました。辻ガバナーは河内長野RC、尾羽根ガバナー補佐および宮脇辰郎地区幹事はともに大阪千代田RCに所属されています。

皆様、本日はようこそ当堺北ロータリークラブにお越し下さいました。ありがたく厚くお礼申し上げます。

辻ガバナーにおかれましては、この10月25日、26日の「地区大会」を無事大成功裏に終えられましたことをまずはお喜び申し上げます。準備から実行にいたるまで大変なご苦勞であったことと推察いたします。

さて、今年度、国際ロータリーの会長は、ゲイリーC. K. ホアン氏（台湾台北RC）で、テーマは「ロータリーに輝きを LIGHT UP ROTARY」です。

また、R I 2 6 4 0地区の「地区方針」は、辻ガバナーが提唱される「会員ひとりひとりが、ロータリー活動に汗を流し、力を合わせることによって、ロータリーを輝かせて、地域社会と世界を『平和の光』で輝かそう！」というものです。

今日は、このR Iのテーマ及び地区方針を全うするにあたり、我々ロータリアンひとりひとりがどうあらねばならないか、ガバナーから直々にご指導いただく絶好の機会です。会員の皆様にはぜひ真剣に聞いていただき、ロータリーを考えるいい機会にさせていただきたいと思ひます。

辻ガバナー、本日はよろしくお願ひ申し上げます。

委 員 会 報 告

広報委員会

「ガバナー公式訪問」

広報委員 池田茂雄



平成26年10月31日(金)ガバナー公式訪問で辻秀和ガバナーにお越しいただきました。「ロータリーに輝きを」のR I会長テーマのもと、当地区の方針を、「会員ひとりひとりがロータリー活動に汗を流し、力を合わせてロータリーを輝かせ、地域社会と世界を平和の光で輝かそう」としましたとの力強いお話しがありました。

当地区の現状についても心配しておりますとのお話しがありましたので、次のような質問を辻ガバナーにさせていただきました。

「地区が内外に向けての諸活動を行うためには資金が必要なことは言うまでもありません。私どものクラブは、クラブに課せられた地区賦課金を一日も早くお支払いしたいのですが、予算が未承認ではそれが出来ません。どうか一日も早く、賦課金が支払い出来ますようにして下さるようお願いいたします。」

これに対して、辻ガバナーからは、「地区大会での選挙人会議において話しがよい方向に進んでおりますので、会長会議を早急に開催し解決に向けて努めます」とのお話しをいただきました。

これで、やっと一安心しました。

社会奉仕委員会

「仁徳天皇陵清掃活動」に参加

社会奉仕委員長 中田 学



平成26年11月2日(日)(仁徳陵をまもり隊と合同第18回)に26年度第1回「仁徳天皇陵清掃活動」に参加。

今にも雨が降り出しそうな天候のもと9時30分より挨拶、説明があり各団体による清

掃活動が開始されました。

例年通り堺北 RC は正面部分の受け持ちです。始まってすぐに皆が汗だくになってがんばっていました。

ガールスカウトの子ども達は、学校行事等で参加は数名でしたが、一緒になって約 1 時間 30 分余り清掃活動を行いました。

参加いただいた皆様有難うございました。

参加者 会員 16 名

会員家族ファミリー会員 7 名

ガールスカウト 7 名 合計 29 名

全参加者約 400 名と発表がありました。



S A A 報 告

池田茂雄会員 辻ガバナーようこそお越し下さいました。ご指導のほど、宜しくお願いいたします。

那須宗弘会員 辻ガバナーようこそお越し下さいました。今日はゆっくりおくつろぎ下さい。

山ノ内修一会員 辻ガバナー様、宮脇地区幹事様、尾羽根ガバナー補佐様、本日は本当にありがとうございました。

坂田兼則会員 辻ガバナー、尾羽根さん、宮脇さん、お疲れさまでした。

木畑 清会員 北輪会の皆様にお世話になりました。

中田 学会員 辻ガバナー、堺北ロータリークラブへようこそ。御指導宜しくお願いします。

奥野圭作会員 先日は落語同好会の皆さん、大変有難うございました。

笹山悦夫会員 娘から最近生まれた孫の写真が毎日メールで送られてきます。その笑顔にいつも勇気づけられています。人間の笑顔って力ですね。

堺北ロータリークラブ一同

本日はお忙しい中、辻ガバナー様

宮脇地区幹事様、尾羽根ガバナー補佐様、ようこそ堺北クラブへお越しいただきました。誠にありがとうございます。

合 計 52,000円

幹 事 報 告

(1) 配布物 週報

(2) 幹事報告 次週の例会終了後は理事会がございますので、理事・役員の皆様はお集まりくださいますようお願い申し上げます。



ガバナー公式訪問の様子



辻ガバナー卓話の様子

才能を発揮するチャンスを 小口融資プロジェクト

パン屋をはじめたマルタさんトルティーヤを売るヒギーニャさん



織物屋を営むレミージャさん

わずかな融資（約 50 ドル）で女性の経済的自立をサポートする、中米での取り組みをご紹介します。

ユニークな融資方法

ここは、ホンジュラス西部の高地。レンカ族と呼ばれる土着の民族が暮らしているこの地域には、深刻な貧困問題があり、支援なしでは経済的に自立することが極めて難しい状況となっています。

そこで、女性の経済的自立をサポートする地元団体「Adelante Foundation」が、地元ホンジュラスと米国カリフォルニア州のロータリークラブと協力し、グローバル補助金を利用した融資プロジェクトを実施。これにより、600 件の小口融資のほか、ビジネス研修と必要物資の提供を行うことができました。

このプロジェクトでは、ユニークな融資方法が用いられ、個別融資を行うのではなく、4~6 人のグループを対象として担保付きの融資を行いました。こうすることで、誰かが返済できなくても、グループの仲間が代わりに支払い、助け合い、励まし合いながら事業を波に乗せることができます。また、地元の人が融資の審査やアドバイスをを行うことで、地域全体の結束を強めることができます。

「プロジェクトを通じて生産力を向上し、雇用機会も広げることができる」と話すのは、ロータリー会員のウィン・コックスさん（Poway-Scripps ロータリークラブ）です。「返済されたお金を新たな融資に当てることで、ゆくゆくは地域社会と女性の暮らしに大きな変化をもたらすことができるでしょう」

才能があってもチャンスに恵まれない女性に着目

支援対象を「貧困者」とみなすのではなく、「起業家」として接することが大切。

こう述べるのは、Adelante Foundation のジーナ・カプチャーティさんです。「才能やスキルを発揮する」チャンスがない女性への支援に力を入れています。「変化をもたらすもの、それはチャンスと成功から生まれる自信です」

ROTAY NEWS より抜粋